

わがまち再発見

対馬市教育委員会 文化財課
0920(54)2341

『対馬の古文書』

4月20日(金)、国の文化審議会は長崎県立対馬歴史民俗資料館が管理する「対馬宗家関係資料」1万6667点と「小田家文書」1巻の2件を、重要文化財に指定するよう答申しました。

「宗家関係資料」(宗家文庫史料)とは、対馬藩が蓄積してきた政治記録で、今回答申された1万6667点以外にも、九州国立博物館収蔵の「対馬宗家関係資料」1万4033点、国立国会図書館収蔵の「対馬宗家倭館関係資料」1593点、慶應義塾大学収蔵の「対馬宗家関係資料」895点が同じく重要文化財に指定されています。未指定のものも含めると、約12万点にのぼり、質・量ともに全国随一の歴史資料と言えます。また、同時に答申された小

田家文書」は、美津島町大山の有力者だった小田家に伝わる中世の文書です。当時の島民の生活や、高麗・九州との交易の様子を伝える史料として高い学術価値があるということで答申を受けました。

対馬の古文書の特徴は「宗家関係資料」のような藩政史料と、小田家文書のような中世史料が、どちらも多く残っているという点です。

中世の東アジアを研究していた田中健夫は、対馬の中世文書について、本土では旧家といわれる家でも、古文書を伝える場合は概ね元禄(1688~1703)以降のもので、慶長(1596~1615)以前にまで遡ることができないのが普通である。しかし対馬の旧家はこれとはいじむらしい対照を示している」と表現し、その多さに驚いています。

こうした古文書の多さを見ると、対馬の先人たちは、連続と続く歴史を大切に守り伝えようとする気質をもつ人たちであったことが伺えるのではないのでしょうか。

(参考文献)『中世海外交渉史の研究』田中健夫 1959年 東京大学出版会)

(参考ホームページ) 国指定文化財等データベース、及び文化審議会報道発表資料)



(写真) 長崎県立対馬歴史民俗資料館提供)

つしま図書館情報

つしま図書館 0920(52)3900

7月の休館日

休館日 (白) おはなし会 (黒)

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

おはなし会は7月21日(土)14:00から開催します。どなたでも参加できます。みなさんのお越しをおまちしています。夏休みの長崎県読書感想課題図書・青少年読書感想文全国コンクール課題図書を展示しています。夏休み期間中は貸出が集中しますので、早めにご覧下さい。

今月のおすすめ新着本

一般書	『「すいません」が言えない中国人「すいません」を教えられない日本人』 井上 一幸 / 著 中国人の力を借りてビジネスに活路を見出すなら、その鍵は社内の日本語力。わかっているつもりその日本語、本当に大丈夫ですか？中国人も日本人も、いまずく始めたい日本語研修読本！	『ジョン・マン 大洋編』 山本 一カ / 著 鎖国日本から漂流し、初めてアメリカで生活を送り、初めて地球を一周し、自力で帰国した誇るべき日本人の物語！土佐の漁師の息子・万次郎、14歳。初めて乗った船で嵐に巻き込まれ、仲間とともに身ひとつで遭難。無人島に流され、5ヶ月後、米捕鯨船ジョン・ハウランド号に救助される。まだ何者でもない少年は、初めて世界を知る。	『中学英語で話せる日本文化 1~3』 桑原 功次 / 著 日本にやってきた外国人と友達になって、みんなでいっしょに出かけて買い物したり、観光に連れて行ってあげたりします。家にも遊びに来てもらいます。現代の日本人に、触れて楽しんでもらう手助けをしてあげましょう。そういう場合の接し方と必要な英語表現を紹介。(1 日常生活編 2 現代文化編 3 伝統文化編)
	『さかだちしたってやまだまやーおしゃべりがまんまき』 杉本 深由紀 / 著 わたしのなまえはやまだまやうえからよんでやまだまやしたからよんでやまだまや…まやは、元気いっぱい、おしゃべり大好きな女の子。でも、きょうはおしゃべりのせいで、先生におこられたり、なかよしのゆっこさんまで、なかせちゃった！もう、ぜったいおしゃべりしないって、きめただけ…。	『とべ！ブータのバレエ団』 こばやし みき / 著 100キロのぶたがバレエをおどったら！？ぶたのブータたちは、おじいさん、おばあさんのためにバレエを踊ることを思いつきました。10匹のバレエ団は厳しいレッスンを乗り越えられるのでしょうか？第5回KFS創作絵本グランプリ受賞作品。	『スポーツ年鑑 2012』 小学館クリエイティブ / 編 なでしこジャパンのサッカー女子ワールドカップ優勝にわいた2011年。本書では2011年におこったスポーツニュース144本を取り上げ、迫力とともに紹介しています。コラム記事では、競技のルールや豆知識なども紹介し理解を深めます。子どもにも大人にも楽しめる、ロンドンオリンピックへ向けて、必携の1冊です。